寒も終り時おり春と思わせるような日和があるようになりました。節分の豆まき、針供養や事始、ひな祭り、お彼岸と続いてゆきます。農作業もそろそろ準備が始まるようです。会員の皆様の中にも種まきの日取りや、夏野菜の品定めにあれこれ情報収集されていると思います。ぜひよい品種や種を選んでほしいものです。愛する家族やかけがえのない人達が自分で育てた安心の食物を食べてくれる、何と幸せな場面でしょう。おいしくて思わず笑顔がこぼれます。景気回復の第一歩はこんなところからかもしれません。安心なおいしいもので元気を出して、真に生活に必要なものにはしっかり吟味して投資する、当社ではそんな会員様のお手伝いが出来ることを楽しみにしています。情報によりますと中国ではだぶついていた鉄鋼がかなり消化され生産量の回復が見込まれ、アメリカでは差し押さえられていた中古住宅が再び売れ始め、大型の車からエネルギー効率のよい車に変える動きが出てきているそうです。現在のこの不況も必ず回復するでしょう。私たちは前をしっかり見て進みたいものです。春はもうすぐです。インフルエンザなどかからないように体に気をつけてお過ごし下さい。

社長

春を待つ大山

いつもの夜振橋から二月初めの大山です。雪がまぶしいほどに輝き寒さのなかにも日差しがポカポカと暖かく感じる一枚です。今年は一月に大雪で会員の皆様も家の雪かきなどに力を注いだと思います。当社も何件か屋根の雪下ろしをやらせていただきました。今月そして来月とまだ油断はできませんが近年の地球温暖化を考えれば雪がたくさん降ってもいいのかなと思う今日この頃です。

社名の由来　キューピー㈱

テレビ3分間クッキングやマヨネーズでおなじみの『キューピー』は、日本で最初にマヨネーズを製造したことでも知られています。創始者の中島董一郎は、アメリカで缶詰の勉強をしていましたが、当時からアメリカでは日常的に野菜サラダなどに使われているマヨネーズは、美味しくて栄養価も高いので中島は注目しました。帰国後、大正8年（1919年）『食品工業』を設立します。そして大正の末頃にマヨネーズの製造を開始しました。当時キューピー人形はアメリカ生まれの人気キャラクターとして大人気だったので、それにあやかろうとして商品名にしました。昭和32年（1957年）親しまれた商品名から現在の社名としました。発売当時は、整髪料（ポマード）と間違えられたエピソードも伝えられています。初年度の売り上げは600キロ、昭和16年（1941年）には500トンまで伸びました。原料不足により戦時中は製造を中止しますが、終戦後3年たった昭和23年（1948年）より製造を再開しました。卵黄がたっぷりで、うまみの強いマヨネーズは日本の米食文化と相性もよく、徹底した合理化で価格も下がりマヨネーズ市場は飛躍的に発展しました。今では家庭に欠かせない調味料の一つですね。ちなみに『マヨネーズ』とは、スペインの『マオン』という港町で肉料理に使われたソースでした。のちにフランスのパリで『マオンのソース』としてご紹介され『マオンネーズ』：『マヨネーズ』となったそうです。

コーセンのプロジェクトX
～荘支川砂防堰堤工事～

我社では西伯郡伯耆町荘の谷間で高さ十二m幅二十五mの砂防堰堤工事を進めています。急峻な谷間での工事に加え、多い時には五十cmの積雪があり難工事となっています。現在工事用道路が完成し、堰堤の掘削をしています。掘削場所まで歩いて上がるのが大変で現場代理人の小倉は万歩計をいつも付けていて1日平均1万歩ぐらい歩いているそうです。

裏話として着工前調査をしていたら鳥取県準絶滅危惧種に指定されているムサシアブミという植物を発見し工区外に移植したそうです。又、アイドリングストップを周知したり環境に配慮した現場です。

【現場代理人　小倉信彦より一言】

地域住民の方には日頃よりご理解ご協力頂きありがとうございます。工事はこれからが本番といった所です。安全・環境に関して一層の配慮を心掛けますのでご協力お願い致します。

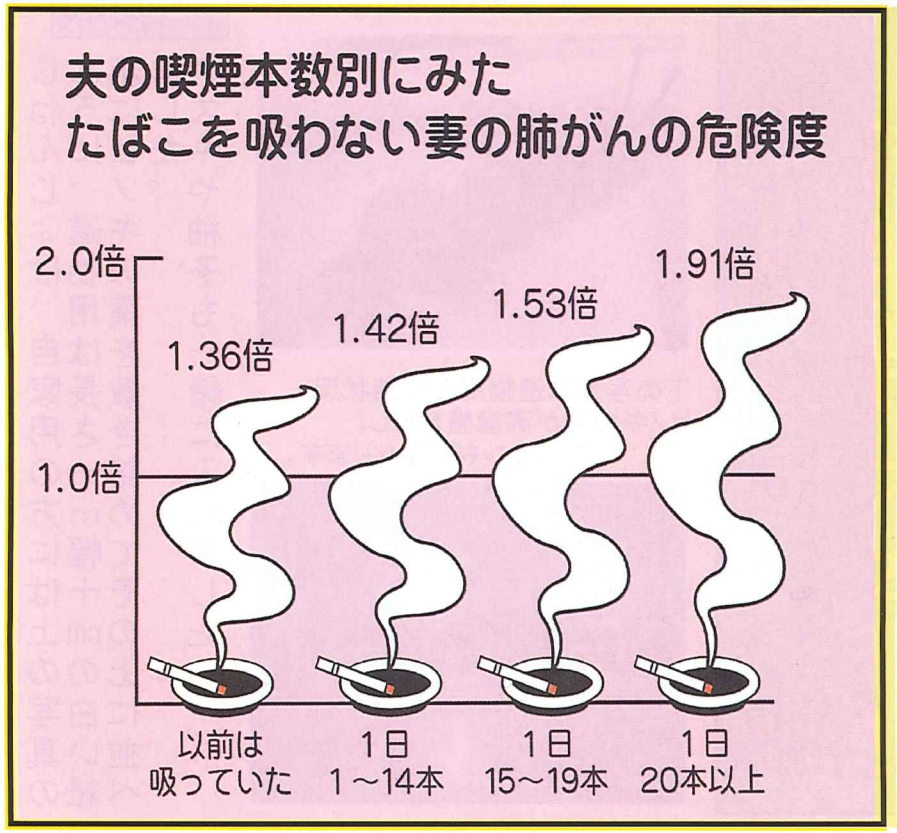
堰堤の掘削状況。
岩盤なので特殊機械で掘り進みます

現場にひっそりといきづいていた「ムサシアブミ」

『健康が一番！』禁煙のススメ

仕事やこの会報を配達するとき田んぼや畑で元気に働く会員の方を見かけます。そんな時やっぱり健康が一番と感じます。その理由は筆者の知人や友人がガンにかかったことです。しかも肺がんです。以前のはつらつとしたイメージがあるだけに闘病の姿はなんともしがたくうつります。しかもその人達は喫煙の習慣がないのです。以前にタバコの害について学習した時に、喫煙者が吸い込む主流煙よりも副流煙の方が発ガン性物質が多く含まれるということでした。今回の知人や友人も確かな証拠はありませんが家族の方の喫煙が何かしらの影響がある可能性があるかもしれません。又、表にあるようにタバコを吸わない人への危険度は、喫煙本数が増えるほど増していきます。さらに妊娠している女性にも深刻です。ニコチンなどのせいで、血管が細くなりお腹の赤ちゃんの栄養や酸素が運ばれにくくなります。そのため赤ちゃんの体にさまざまな影響がでてしまうことがあるそうです。どうですか？喫煙される方はこの際禁煙にチャレンジしてみませんか。

（次号は禁煙について）



メーカー見学しました。

お客様より御依頼されていました墓石を鳥取県東伯郡にあります㈱サンセキ様にて字彫り前の段階検査をしました。

墓石が指定した色、形、寸法、キズやヨゴレがないか入念に検査をしました。そしてこの日、墓石の見学を兼ねて当倶楽部の会員であります生田様も一緒に御同行されました。

広い敷地に何百とある石を生田様も熱心に見て勉強されていました。お疲れ様でした。

ビフォーアフター

昨年はたくさんの方におにさび砂舗装の御注文いただきました。一部ですが御紹介いたします。ありがとうございます。

員の方からは『本当に草取りが楽になった』『歩きやすくなった』とお声をいただきます。品質や性能について質問される方も実際現地を見られお家の方にお話を伺うと必ず納得されます。水はけについても他の工法を圧倒しています。三月のお彼岸が近づいてきました。この機会にどうぞ御検討下さい。

又、原料の砂は鳥取県のグリーン商品に認定されています。この商品は日野川産出の天然由来商品であり環境を壊しません。会

自然薯便り

昨年の５月１６日に植付けた自然薯の小さな種イモが、『やめといたほうがいいよ』とか『あまりにも高地だからできないよ』などたくさんのマイナスの声にもめげず３週間ほどした６月７日、小さなかわいらしい芽を出しました。畑の見廻りに行っていた私が見つけたのは３本でした。その時の何とも言えない幸せな気分は今でもはっきり憶えています。ツルの成長と共にハート形の葉もいつがて、いっぱい芽映えてきました。うれしい気持ちが一杯と思うなか雑草も一杯となりました。家族や社員と共に草取りや草刈をしました。建設業の兼業農家に生まれ育った私ですが、自分がなにもかもリードして作物を作るのは小学校のとき夏休みの宿題でやったアサガオは地上で見ることが出来ますが自然薯は土のなかです。師匠の観察以来です。イネやアサガオの見ることが出来ません。不安でした。師匠の『自然薯やおおえ』の大柄社長のイモとはツルや葉の繁りもいくぶん控えめに見えます。作り主に似るのかなーなどと思いつつ１０月の末にムカゴという自然薯の実の収穫と合わせ試し掘りをしました。自然薯がパイプから出てきた瞬間バンザイでした。少しこぶりでしたが色白でいかにも粘りのある美味しそうな奥大山自然薯第一号でした。十二月中に１７０本掘り出し当社のおにさび砂の中で保存していましたが、口コミで評判となり瞬く間に売り切れとなってしまいました。販売予定でなかったので、急遽化粧箱など用意しましたが十分でなく御迷惑をおかけいたしました本年は植付け本数５００本を予定していました。下ごしらえ、調理の方法、パンフレットも用意する予定です。御希望の方にはオーナーになっていただき一緒に育てたいと思います。コーセンのホームページにも様子を載せています一度ごのぞいて下さい。みなさんに本当に安全なもの、目の前で作った確かなものを食していただきます。応援していただき少しずつ栽培面積を増やしたいと考えています。どうかよろしくお願いいたします。

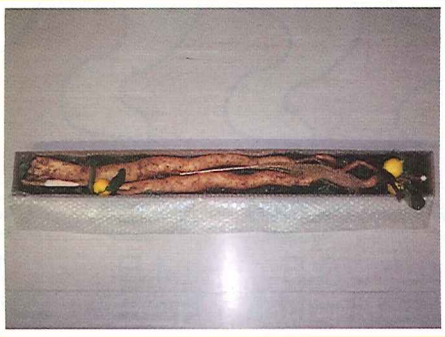
農場長　川端

完成品

じねんじょは、自家用の方には上の写真のように、進物用は長さ一ｍ幅十㎝の白い紙箱にヒノキの葉を敷き詰めてその上に並べました。スキや柚子も一緒に入れました。

自家用の方には曲がったものなどを少しお安く提供しています。

下の写真は進物用の箱詰状況。
ヒノキの葉が高級感を出し、
クッション材にもなります。



今シーズンも御期待下さい!!

雪下ろしやりました!!

一月の中旬の大雪では会員の皆様も雪かきなど大変だったと思います。コーセンでは今年も屋根の雪下ろしをさせていただきました。ざっと１メートルは積もっていました。足元に雪を３０センチほど残しながらドッドドッドと雪下ろしをしていきました。雪下ろしだけではなくお家のことで困ったことがありましたらどんな小さなことでも構いませんので会社まで是非御連絡下さい。宜しくお願い致します。

この倶楽部通信に対するご意見・ご感想がありましたら、ご一報ください。今後の倶楽部通信にどんどん取り入れてゆきたいと思います

連絡先　コーセン・はっピーライフ倶楽部事務局
ＴＥＬ　０８５９―７５―２１２４
川端まで